

第3次地域福祉計画に係る具体的な取り組みの実施状況について

第3次地域福祉計画は、平成29年度から平成33年度までの5年間で計画期間としています。計画の推進にあたり、平成29年度の実施状況をまとめました。

1 つながる・ほくと（助け合い・交流が活発なまち）

（1）身近な福祉・知る福祉・見える福祉

項目	内容	H29実施状況	課別
①小中学校におけるボランティア活動・福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の頃から福祉への関心を高め、地域福祉について学ぶ機会を設けます。 ○社会福祉協議会が行うボランティア活動推進校への取り組みを支援します。 ○教育委員会と連携して福祉教育を全行的に推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中高等学校のうち希望のあった学校に対し、福祉教育の推進のため学校の特色を活かした活動を実施しました。（高齢者疑似体験、地域高齢者との交流、障がい者理解、環境美化活動等）市内小学校11校、中学校9校、高校2校 	福祉課
②講演会の開催による住みやすい地域づくりの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ○講演会の開催により、地域福祉や地域活性化に関する啓発を実施します。 ○様々な分野の講演会を開催し、市民に地域づくりに関する情報を提供します。 ○講演内容や講師選定、日程などを工夫し、参加しやすい講演会にします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北杜市健康福祉大会において講演会を開催しました。 ○平成29年10月21日（土） テーマ：「認知症になった波平さん」 講師：渡辺哲雄氏 参加人数：250名 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さんに、高齢化の進展に伴い増加する認知症についての理解を深めていただくとともに、認知症の方が安心して生活できる地域づくりについて考えていただくために、劇団やまなみによる「すてきな5人の淑女たち」の公演会を開催しました。（参加者数346人） 	介護支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・安心して住みやすい地域づくりの推進において「こころの健康対策」として社会全体の問題としてとらえ、ハイリスク（自殺問題など）となる人を含め、広域的な見守り体制が構築できるよう民生委員・児童委員、主任児童委員を対象にゲートキーパー養成研修（参加者126名）を2回実施し、参加しやすい体制にて開催しました。 	健康増進課
		<ul style="list-style-type: none"> ・市政報告会に併せて市民を対象とした講演会を年4回実施しました。 ○平成29年4月21日（金） テーマ：「義足を翼に変えて」 講師：鈴木 徹（すすき とおる）氏 パラリンピック走り高跳び日本代表 参加人数：387名 ○平成29年7月20日（木） テーマ：「北杜で開業して思うこと」 講師：森 真由美（もり まゆみ）氏 森の診療所院長 参加人数：242名 ○平成29年10月23日（月） テーマ：「新しいコミュニティと地域活性化策について提案しよう」 講師：森 早稲田大学公共経営大学院 学生 参加人数：168名 ※講演会は台風の影響により1月16日に延期 ○平成30年1月23日（火） テーマ：「地域社会とスポーツ」～健やかに幸せに～ 講師：松浪 健四郎（まつなみ けんしろう）氏 学校法人日本体育大学学長 参加人数：190名 	地域課

③生涯学習講座等を通じた地域福祉の啓発	<p>○健康や介護など福祉関係の口座を開催し、意識の啓発を図ります。</p> <p>○地域活動のきっかけや、高齢者が自らの体力を確認できる機会にします。</p> <p>○市民ニーズの把握や関係団体の協力により、市民が望む講座を開催します。</p>	<p>・平成29年10月7日（土）「ここを育む子育て～こどもの”今”に寄り添う～」講演会を開催し、子どもの心に寄り添う子育てについて学ぶことができました（参加者126名）。その他市内各地区において、年間を通じ講座を開催しました。</p>	生涯学習課
		<p>・年間を通して、健康講座をシリーズで開催（8回開催：参加者数合計326人）し、市民が自身の健康の様子を考えながら、必要のある講座に参加し、生活改善に取り組めるような機会としました。</p> <p>・地域で積極的に健康についての課題を取り上げてもらえるよう、地区での行事などに要望がある場合は、保健師を派遣して市民が希望する内容の講話（13回）を行いました。より多くの市民に参加してもらえるように土曜日の開催（2回）も行いました。</p>	健康増進課
④地域福祉に関する情報の周知	<p>○地域福祉に関する活動や募集、サービス等の各種情報について、広報・ホームページ・CATV・区長文書等で幅広く周知を図ります。</p> <p>○福祉情報を一元的に整理し、適切かつ円滑に取得できるよう方法を検討します。</p>	<p>・広報ほくとにて、福祉課の業務や地域福祉に関わる情報の周知を行いました。</p> <p>○健康福祉大会、いきいき山梨ねんりんピック、社会福祉協議会にて開かれたボランティア推進大会等イベント情報の周知</p> <p>・健康福祉大会や北杜市で開催された高齢者作品展については、市HPやCATVで周知を行いました。</p>	福祉課
		<p>・子育てに関する情報について、広報、ホームページ等で周知を図りました。</p>	子育て応援課
		<p>・平成29年4月にほくとっこ元気課の新設に伴い、子育て世代包括支援センターが母子保健及び子育て支援が一体的に、妊娠準備期から子育て期にわたりワンストップでサポートする体制になりました。また、広報、CATV、ホームページなどで周知、母子健康手帳の交付時にも情報提供を行いました。</p>	ほくとっこ元気課
		<p>・介護予防事業等の関連情報を市ホームページや広報ほくと、CATV、ハケ岳ジャーナル、新聞等で周知しました。</p>	介護支援課
		<p>・健康情報や事業などについては、広報・CATV・ホームページ・回覧・ポスターを利用して広く周知を行いました。</p>	健康増進課
⑤子育て支援情報の提供	<p>○子育て応援サイト「やまねと」の運営を通じ、情報を一元的に提供します。</p> <p>○母親の目線による意見を反映させ、情報の充実を図ります。</p> <p>○母親同士のネットワーク活用など多様な手段で情報を提供します。</p>	<p>・子育て情報サイト「やまねと」において、子育てに関するさまざまな情報を一元的に提供したほか、母親目線による意見を反映させるため、ママ記者ブログによる情報発信を行いました。</p>	子育て応援課
		<p>・子育て情報サイト「やまねと」において、母子保健・子育て支援事業の情報提供をするとともに、利用者支援専門員により、北杜市子育てガイドブックを活用し母親へ情報提供しています。</p> <p>・母親目線のママ記者により、母子保健や子育てに関する情報収集したことを「やまねと」のサイトに随時アップしています。</p>	ほくとっこ元気課
⑥民生委員・児童委員による地域福祉情報の周知と活用	<p>○民生委員・児童委員の定例会において、地域福祉に関する研修を実施します。</p> <p>○地域の身近な相談役である民生委員・児童委員が地域福祉に関する情報を周知することで、地域に即した福祉情報の提供を推進します。</p>	<p>・民生委員児童委員全体研修会において、各地区民生委員児童委員協議会の事例発表を行い、情報交換をおこないました。</p> <p>・「あんきじゃんねとわーく事業」について民生委員へ周知するため、あんきじゃんねとわーく事業関係者連絡会を全体研修会に組み込み事業内容の周知を図りました。</p>	福祉課

(2) 声かけ・助け合いの促進

項目	内容	H29実施状況	課別
①地域の見守り体制の構築と助け合いの促進	<p>○地域から孤立する恐れのある人を地域全体で見守る体制を構築します。</p> <p>○放課後の子どもたちの見守りと安全な居場所づくりに取り組みます。</p> <p>○地域の身近な見守りや助け合いが大切であることを啓発していきます。</p> <p>○あんきじゃんネットワーク事業を推進していきます。</p>	<p>・あんきじゃんネットワーク事業設立に関わる、地区民生児童委員、警察・消防署、庁内の各部署が会する関係者連絡会議を開催し、情報交換会を開催しました。</p>	福祉課
		<p>・高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう、地域の医療、介護、福祉関係者等とケア会議等を開催し地域の見守り体制を構築しています。</p>	介護支援課
		<p>・子供たちの放課後の安全安心な居場所として、放課後児童クラブ、児童館の運営を行いました。</p> <p>・高根小学校統合に伴い、高根東放課後児童クラブの建て替えに着手しました。</p>	子育て応援課
		<p>・市内につどいの広場を4か所開所し、平成29年4月から保健センター内に設置された「はっぴいたんたん」は土曜日も開設し利用できる日を拡大しました。</p>	ほくとっこ元気課

②緊急通報システム「ふれあいペンダント」の推進	○高齢者の家庭でも容易に緊急時の通報ができるシステムの配備を推進します。 ○NPO法人と連携して、24時間365日の通報・相談に応じます。 ○利用対象者の拡大や利用要件の緩和等を検討します。	・平成25年度から、通報先をNPO法人に切り替えを行ったことにより24時間365日の通報、相談が可能になりました。また、要件についても協力員3名を2名以上と緩和しました。	福祉課
③ゴミステーションの適切な管理	○地域のごみステーション管理活動を通じて、地域の繋がりや交流機会を創造します。 ○分別マニュアル・排出カレンダーの配布により適切なごみ出しを推進します。	・年1回、各地区の地域環境委員を対象に、ごみ及び資源物の適正な排出方法について説明を行い、地域のごみステーションの適正管理に努めました。 ・地区役員の方にご協力いただき、ごみカレンダーや分別マニュアルを配布することができました。	環境課

(3) 集まる・交流するコミュニティづくり

項目	内容	H29実施状況	課別
①転入者への行政区加入に関する情報	○転入者が転入手続きで来庁した際に、地区や区長などの紹介を行います。 ○「行政区への加入の案内」や「ふくし相談ガイド」を配布します。 ○行政区の役割や自治会活動保険の説明を実施し、加入を促進します。	・本庁及び支所の担当窓口において、「行政区への加入の御案内」を転入者に渡している。	市民課
		・地域活動や交流事業に積極的に参加できるよう、自治会活動保険に加入し、安心して行政区活動に参加できる環境づくりを行いました。	地域課
		・平成24年度に作成した「ふくし相談ガイド」は、組織の編成等に伴い変更が生じたため、配布を行わず、タウンページに掲載される「北杜市暮らしの便利帳」を紹介しました。	福祉課
		・転入者へ、ごみの収集場所、排出方法を説明するとともに、ごみ・資源物排出日程表及び分別マニュアルの配布を行いました。	環境課
②行政区加入率向上に向けた取り組み支援	○行政区や自治会の現状について、各地域の動向を把握します。 ○行政区の加入を促進するための取組について、支援方法等を検討します。	・各地区行政区長会において、各区の情報についてアンケート形式で調査を依頼。 ・アンケート結果を整理して、移住希望者との相談会等にて活用。	地域課
③多世代が交流する機会の促進	○地域の多様な主体が連携し、交流機会の場を確保します。 ○親子で開催できるスポーツや文化行事を開催します。 ○地域のお年寄りと子どもの交流ができる催しなどを開催します。	・11月23日(木)北杜再発見講座「村山六ヶ村堰疎水を学ぼう」のほか、市内各地区において、多世代が交流できる内容の生涯学習講座を開催しました。	生涯学習課
		・地域の方々に参加いただきながら、放課後子供教室を実施し、地域住民との交流活動に積極的に取り組みました。	子育て応援課
		・つどいの広場を中心に親子でできる行事を組み入れ開催しました。 ・平成29年10月に子育てフェスを開催し、ママサークルを中心に愛育班員などとの交流も図られました。	ほくとっこ元気課
④「集いの場」の普及促進	○多様な運営主体による、地域の「集いの場」を普及促進します。 ○住民主体の高齢者集いの場事業の立ち上げを支援します。	・各地区の高齢者が集いながら社会参加と高齢者福祉向上のため、市で高齢者の活動に対し支援しました。	福祉課
		・高齢者通いの場促進事業において、通いの場を運営する住民ボランティア団体に対して、立ち上げ支援として開催回数に応じて運営費の補助を行いました。また運営支援として、リハビリ専門職による介護予防の取組を指導しました。(通いの場42か所) ・市内で高齢者通いの場等を運営するボランティアが一堂に会して活動報告、情報交換、先進事例の紹介などを行う交流会「笑談会」を開催し、活動意欲の向上や仲間づくりを支援しました。	介護支援課

2 かつやく・ほくと（健康で元気に活躍できるなまち）

(1) 健康・生きがい・活躍の場づくり

項目	内容	H29実施状況	課別
①健康づくりの啓発・取組支援	○市民・地域・行政が連携して地域の健康作りを推進します。 ○健康づくりや規則正しい生活習慣についての普及啓発を図ります。 ○地域による健康づくりや介護予防事業の取組を支援します。	・健康づくり推進協議会（年2回）において、健康づくり事業の評価を実施し、当年の事業計画に市民の声として内容を反映し、市民・地域・行政が一体となって取り組むことができるようにしています。 ・健康増進普及月間に併せて、市民の健康意識の向上が図れるよう9月を「いいことチャレンジ健康ほくと」事業として市全体で健康づくりへの取り組みができるように保健福祉推進員と連携を図りながら、普及啓発を行いました。（いいことチャレンジ健康ほくと取り組み報告者数：1, 232人）	健康増進課
		・保健福祉推進員が各地域で開催する「はつらつシルバーのつどい事業」に、口腔、運動、栄養等の専門講師を派遣し、介護予防の普及啓発を行いました。【166回、3,946人参加（うち65歳以上3,295人）】	介護支援課
②介護予防サポートリーダーの養成と活動支援	○地域の高齢者同士がお互いを支えることで、介護予防の取組を推進します。 ○介護予防サポートリーダーの養成講座を定期的に開催します。 ○多くの登録者が参加できるように活動支援やフォロー研修を実施します。	・養成講座を開催し、新たに19名の方が介護予防サポートリーダーとして登録しました。 ・現在活動中の方とあわせて72名が、各地域で公民館カフェなどの介護予防活動を実践しています。 ・スキルアップや介護予防をより意識した活動ができるよう、情報交換を兼ねた研修会を月1回定期的に開催するとともに先進地視察などにより活動への支援を行いました。（登録者112人、活動者数72人）	介護支援課
③保健福祉推進員の養成と活動支援	○地域の保健福祉事業の普及と実践に努める保健福祉推進員を要請します。 ○推進員の役割や地域づくりの意識を高めるため、研修会の充実を図ります。	・保健福祉推進員の研修会で、介護予防の重要性について統計データなどを用いて市民にわかりやすく説明し、地域での取り組みについて啓発しました。	介護支援課
		・保健福祉推進員を市内346名に委嘱し、研修会を年3回（それぞれ4会場ずつ）行いました。今年度は、保健福祉推進員が、地域住民の健康と福祉の担い手としての意識を深め、地域で活動しやすいように「保健福祉推進員ガイドブック」を作成し配布しました。（研修会延べ参加者数：679人）	健康増進課
④食生活改善推進員の養成と活動支援	○食を通じた健康づくりの担い手となる食生活改善推進員を要請します。 ○食生活改善推進員による障害を通じた食育と健康づくりを推進します。 ○食生活改善推進員の活動や地域との連携の支援を実施します。	・食を通じた健康づくりの担い手として次の活動を行い、普及啓発を行いました。 ○家庭訪問による減塩・生活習慣病予防普及啓発活動（市内975世帯訪問） ○保育園おやこ食育教室（18回実施：180人） ○地域での普及啓発活動のための代表者研修会（4回実施：地区代表者81人）及び全体研修会（1回：92人参加） ○日本食生活改善推進協議会事業 「高校生を対象とした生活習慣病予防」（県立北杜高校生への講義と調理実習：271人） 「地域のおやこ食育教室」（白州地区2回実施：52人） 「やさしい在宅介護食教室」（市全体：33人） 「生涯骨太クッキング」（大泉地区：33人） ・新会員の養成として講義と調理実習を実施（8日間：19.5時間）し、新たに54名の食生活改善推進員を養成しました。	健康増進課
⑤母子愛育会の活動支援	○子どもたちの健やかな成長のため、母子を中心に地域ぐるみの健康づくりを推進する。 ○母子愛育会の活動が市内全域で行われるように推進します。	・母子愛育会の各班の分班長会議や各種事業に地区担当保健師が出席し母子の健康課題を中心に情報提供し、地域の健康づくりについて共に考え課題解決に取り組みました。 ・母子愛育活動が市内全域で行われるように休会地域の現状を把握し、愛育会理事会で働きかける地域を検討しました。	ほくとっこ元気課
⑥認知症サポーターの養成と活動支援	○地域で認知症の人を支えるため、認知症サポーター養成講座を開催します。 ○サポーター同士の交流や登録者の活動支援を実施します。 ○認知症の人と関わることが多い民間団体などの参加を重点的に働きかけます。	・市内の中学校、金融機関、民生委員、介護予防サポートリーダー、行政機関などで養成講座を開催しました。（293人受講、これまでの総受講者数5,831人） ・認知症サポーター養成講座を開催するキャラバン・メイトに対し研修会や先進地視察を行い、今後の認知症に関する啓発活動について検討しました。	介護支援課

(2) ボランティア活動の活性化

項目	内容	H29実施状況	課別
①ボランティアの養成	○各種ボランティア養成事業を実施します。 ○社会福祉協議会で実施しているボランティア養成事業を支援します。 ○ボランティアの集いなどを開催し、ボランティア活動の活性化を支援します。	・社会福祉協議会で行っているボランティア活動に対し、市で支援を行いました。 ○ボランティア養成講座を6回開催 参加者 149名（ボランティアリーダー研修、傾聴ボランティア養成、災害ボランティア養成、災害ボランティアセンター設置運営研修等） ○ボランティアの集いの開催 参加者 161名	福祉課
②介護支援ボランティアの推進	○高齢者の社会参加により、介護予防と活力ある地域づくりを図ります。 ○介護支援ボランティアを養成し、高齢者のボランティア活動を推進します。 ○より利用しやすい制度にするため、周知強化や制度改定に取り組みます。	・介護支援ボランティア事業について周知するため、ポスター、チラシを作成し関係機関に配布しました。 ・ボランティアの情報誌「つながるえがお」を創刊し、ボランティア活動の紹介や受入れ施設の情報などを掲載し、登録者や市内の施設、関係機関に配布しました。 ・介護支援ボランティアセミナーを「ボランティアがいきいきと力を発揮するために」と題して開催。ボランティア登録者、活動に興味のある人、受入れ施設職員等の参加により「対話形式の研修」を実施し、ボランティア活動から介護予防、地域を支えるといったことについて考える機会としました。（参加者65人）	介護支援課
③ボランティアが活躍できる機会の創出	○各種ボランティア制度の周知を図ります。 ○ボランティアと地域活動団体の円滑なマッチングを支援します。 ○市民の知識や技術を同世代や同世代間の交流に生かせる人材登録制度（公営アカデミー）を運営します。	・市役所入口へボランティアボードを設置し、利用者へ周知しています。	福祉課
		・生涯学習誌「まなびの杜」で、「子育て・教育・人材育成」、「芸術・創作」、「教養」、「スポーツ・レクリエーション」、「美容」の各分野の指導者を登録してもらい、その情報をタレントバンク登録一覧として掲載し、市民に活用してもらえるよう配布しました。	生涯学習課
		・放課後子供教室の運営を行うためには、地域住民の指導者としての参加が不可欠であることから、地域毎のスタッフの充実を図りました。 ・放課後子供教室開催にあたり、公営アカデミー学習応援人材バンクを活用し指導者の派遣を受けました。	子育て応援課
④地域活動団体の支援	○社会福祉協議会と連携し、ボランティアと各団体のマッチングを促進します。 ○得意分野や技能を持つ個人の社会活動を推進するため、高齢者の人材バンク登録を進めます。 ○市民がボランティア活動へ参加しやすい環境を整えるため、活動内容の情報発信に取り組みます。	・社会福祉協議会へ登録した個人や団体のボランティアスタッフに、福祉講話等の依頼を受け講師派遣の調整を行いました。	福祉課
⑤地域活動の場や拠点の提供	○ボランティアセンターの周知や活動促進を支援します。 ○地域活動やボランティア同士の交流が行える場を設けます。 ○社会福祉協議会と連携し、ボランティア活動の周知を図ります。	・市内のボランティア団体と社会福祉協議会が協働し、ボランティアの集いを開催しました。 開催日 平成29年11月25日（土） 参加人数 161名	福祉課
⑥福祉団体活動の周知支援	○地域で行われている福祉活動について、情報周知を支援します。 ○福祉団体の希望に応じて、広報等への記載により情報提供を支援します。 ○社会福祉協議会と連携し、福祉団体やボランティア団体の活動を周知します。	・ボランティアボードを活用し、情報提供を行いました。	福祉課
⑦福祉の取組をつなぐネットワークづくり	○地域課題の解決や福祉サービス調整のため、団体間で情報共有を図ります。 ○各種団体や関係機関で連絡会を開催し、ネットワークづくりを推進します。 ○福祉団体の協働による支援体制を構築します。	・かざぐるま(障害者総合支援センター)にて、峡北地域自立支援協議会事業所連絡会(計画相談事業所及び地域相談支援事業所)を実施し、事例検討会や制度学習会を通し各関係機関との情報共有連携を図りました。	福祉課
		・小地域ケア会議を明野町で開催し、地域の組織、団体に所属する方による意見交換を行いました。今後市内8地区での開催を目指していきます。	介護支援課
		・保育施設等において、気になる子供を確認した場合、より適切に対応するため、関係機関と情報を共有し支援の内容について協議を行いました。	子育て応援課

3 あんしん・ほくと（誰もが安心して生活できるまち）

（1）地域住民による防災・防犯対策の充実

項目	内容	H29実施状況	課別
①自主防災組織の結成促進	○災害の予防と軽減のため、各地域における自主防災組織の結成を支援します。 ○防災意識の高揚を目的とした「出前講座」を開催します。 ○住民主体の防災対策を意欲的に推進できる人材の育成を行います。	・年度当初、各町の区長会において、事業内容の説明を実施しました。	地域課
②避難行動要支援者の登録促進	○地域の避難行動要支援者の登録を促進します。 ○地域の会合や民生委員等を通じて、制度の周知や登録の促進等を実施します。 ○平常時から声かけが行われるよう、地域の協力を求めています。	・年度当初、各町の区長会や民生児童委員会議において、事業内容の説明、名簿の更新、登録の推進、災害時に備えた名簿の活用の呼びかけを実施しました。	地域課
		・各地区民生委員へ登録者の配布を行い、登録者の見守りと気がかりな方へ制度紹介について依頼しました。	福祉課
③子育て世帯の防災体制の強化	○防災訓練や防災イベントを通じて、乳幼児、子ども、子育て世帯向けの災害対策の必要性や世帯に応じた備えの大切さを啓発します。 ○子育て世代の自主的な防災活動の取組を支援します。	・平成29年9月3日（日）に実施した市総合防災訓練において、「防災ママ@北杜」の方々との協働により、子どもたちを対象とした備蓄食料品の展示、試食、パーソナルカードの作成など、災害に対する対応等の啓発活動を実施しました。	地域課
		・各放課後児童クラブで、年2回の防災訓練を行いました。	子育て応援課
		・保健師による新生児訪問や乳幼児健診時に防災用品等の紹介をしました。 ・保健センター内に防災用品の展示を常設し、周知しました。	ほくとっこ元気課
④防犯対策事業の推進	○犯罪の未然防止を図るため、地域に防犯灯の配布を実施します。 ○地域ぐるみで安全を守る「子ども110番の家」の普及促進に努めます。 ○防犯団体連絡協議会の活動を促進するため、定期的に会議を開催します。	・犯罪等を未然に防止するため、防犯灯を購入し地域からの要望により支給をしました。 ・名称を「自主防犯団体連合会」としています。平成29年度は開催しませんでした。	地域課

（2）生活の不安を軽減する支援の充実

項目	内容	H29実施状況	課別
①移動販売等の買い物支援の促進	○移動手段が乏しく、日常の買い物が不便な人の動向を把握します。 ○買い物支援として、移動販売や宅配等の情報提供を行います。 ○移動販売や宅配等に取り組む事業への支援策を検討します。	・日常の買い物環境を把握するため、各行政区長あてに移動販売の状況及び移動販売者の巡回希望の有無等に関するアンケートを実施しています。 ・市内で巡回している移動販売業者及び宅配事業者の情報を取りまとめ、情報提供を行いました。	商工・食農課
②交通弱者に対する移動支援の促進	○高齢者をはじめとした交通弱者に対する移動支援サービスを促進します。 ○高齢者や家族の人に、福祉有償運送等を実施している事業所を紹介します。 ○公共交通の利用が困難な高齢者や障がい者にタクシー券の給付を実施します。	・高齢者生活支援事業により、通院のためのタクシー券を給付し、月1回の通院の際の初乗り料金を助成しています。平成29年度は、15名が登録されました。	福祉課
		・住民主体による高齢者の外出支援サービスモデル事業において、公募により2団体を選定し外出を支援する取組みを始めました。対象者は要支援1.2、満80歳以上で判定シート70点以上の方で、H30.2月末現在会員数40名、延べ利用回数96回でした。（モデル事業期間H29年度～H31年度）	介護支援課

③公共交通の整備	<p>○既存の公共交通を有効的に活用し、効率的な運行体系を確立します。</p> <p>○利用者の利便性や交通弱者等に配慮したバス運行に取り組みます。</p> <p>○地域内の公共交通事業者と連携する中で、新たな公共交通を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を運行する市民バス14路線及び本市と、韮崎市を結ぶ共同委託バス路線や民間バス路線を維持しました。 ・「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにする「マスタープラン」（骨組みを定める基本的な計画）として位置付けられる「北杜市地域公共交通網形成計画」を策定しました。 ・計画の策定に伴い「交通基礎調査」や「市民アンケート」なども実施し、その結果から、地域公共交通網の整備に関する方針として、幹線（エリア間をつなぐ移動）と支線（エリア内の移動）をうまく組み合わせ、効率的な地域公共交通体系を構築することとしました。 	企画課
----------	--	--	-----

(3) 相談体制・福祉士サービスの充実

項目	内容	H29実施状況	課別
①住民主体の生活支援サービスの創出・実施	<p>○福祉や介護などに関係する諸団体と連携し、生活支援サービスの向上に努めます。</p> <p>○住民主体の買い物、見守り等の生活支援サービスを支援します。</p> <p>○社会保障制度等の給付に結びつかない方の支援に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域の各団体が、一人暮らし高齢者へお楽しみ給食サービス事業の配達や調理を連携して行いました。 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県が主催で開催される高齢者いきいきライフパートナー養成研修に9名が参加しました。 	介護支援課
②相談窓口の案内・周知	<p>○市や関係機関の窓口、福祉関連サービスの情報を整理し、分かりやすく提供します。</p> <p>○福祉情報をケース別に整理した「ふくし相談ガイド」を窓口で配布します。</p> <p>○広報・ホームページ等で福祉の相談窓口に関する情報を発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に作成した「ふくし相談ガイド」は、組織の編成等に伴い変更が生じたため、配布を行わず、タウンページに掲載される「北杜市暮らしの便利帳」を紹介しました。 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・区長会、民生委員会、保健福祉推進員研修会等で高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターの周知を行いました。 	介護支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・ほくとハッピーワークを常設し、市とハローワーク韮崎が一体となって子育て世代やひとり親の就労支援や職業相談を実施しました。 	子育て応援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月よりほくとっこ元気課内に子育て世代包括支援センターとしての機能を充実し、妊娠準備期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行いました。 ・内容を周知するために、チラシの作成をし、各種団体に周知を行いました。また、広報、ホームページ、CATVで周知するとともに、訪問時などにも案内を行いました。 	ほくとっこ元気課
③民生員・児童委員等と連携した相談しやすい体制づくりの推進	<p>○民生委員・児童委員や母子相談員等と協働し、地域の相談体制を整備します。</p> <p>○社会福祉協議会と連携し、「福祉総合相談窓口」を運営します。</p> <p>○山梨県弁護士会と連携し、法律相談を開催します。</p> <p>○職員のスキルアップや関係機関との連携体制の構築を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員に必要な市の制度などを伝え、通常の活動で発見した案件を的確に福祉行政へつなげられる体制づくりを行いました。 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターの地区担当職員が民生委員会の定例会に参加し、相談や情報共有を行っています。地区個別のケースに関しては、他機関との連携や個別ケア会議などで相談体制を構築しています。 	介護支援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や児童委員の代表者の方に委員になっていただいている、「子ども・子育て会議」において、市の子育て施策について年数回協議いただきました。 	子育て応援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で行われています民生委員・児童委員会の定例会に出席し、子育て世代包括支援センターの周知と連携について案内をしました。 	ほくとっこ元気課
④包括的な子育て支援の実施	<p>○妊娠準備期から子育て期に渡って、相談支援や母子保健、子育て支援を包括的にワンストップで提供する「北杜市版ネウボラ」を推進します。</p> <p>○地域全体で子育てを支援していく体制づくりに取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に参加いただきながら、放課後子供教室を実施し、地域住民との交流活動に積極的に取り組みました。 	子育て応援課
		<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠準備期から子育て期に渡って、相談支援や母子保健、子育て支援を包括的にワンストップで提供する体制の構築のために保健センター内にほくとっこ元気課が新設されました。子育て世代包括支援センター機能として推進しました。 	ほくとっこ元気課

⑤各種福祉サービスの提供	○公助として行う各種福祉サービス（児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、介護保険事業など）について、それぞれの計画に基づき適切に提供します。 ○市内及び関係機関で連携を図り、総合的な支援サービスを提供します。	・かざぐるまでの相談を経て、就労支援や日中活動先などの福祉サービスに結び付けました。	福祉課
		・市内でサービス調整会議を月1回定例で開催し、担当部課の情報共有とサービスの調整を行いました。	介護支援課
		・「北杜市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、事業を実施しました。 ・計画については、北杜市子ども子育て会議において中間見直しを行いました。	子育て応援課
⑥介護者支援の充実	○介護する人への相談対応や適切な助言を行い、介護負担の軽減を図ります。 ○寝たきり・認知症高齢者を介護する人の交流を実施します。 ○介護をしている家族等へ介護用品を支給します。	・精神障害者家族懇談会の開催を企画しました。 ・精神障害者家族会が立ち上げた「八峰会」の保護者研修会にて、福祉サービスに関する研修会を行いました。	福祉課
		・在宅の要介護高齢者を介護している家族等に対して、身体的・精神的・経済的負担の軽減を図るため介護用品を支給しています。（市内に住所を有し介護用品を使用している市民税非課税の要介護4、5、排尿排便が「全介助」「一部介助」のものが対象）（支給実績186人）	介護支援課
⑦成年後見制度の利用促進	○権利擁護センターとの協働による普及啓発や制度利用の促進を実施します。 ○成年後見制度の費用負担が困難な人に対して助成を実施します。 ○市民後見人養成講座を開催し、地域で支える仕組みを構築します。	・財産管理について、法律相談から弁護士につなげ、申請を行いました。	福祉課
		・制度の正しい理解と普及のため、成年後見セミナーを市民向け、事業所向けに開催しました。（市民向け72名、事業所向け31名参加）	介護支援課